

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 産業教育・キャリア教育担当
 内線: 6759 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P15	職業人材を育成する専門高校活性化事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール 4	
					分野施策	0501	確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット 4-1, 4-3, 4-4	
1 事業概要 専門高校等において企業等の支援を受け、計画的に実践的な職業教育を展開することにより、地域の産業界が求める専門的職業人材を育成する。 また、県内専門高校等の生徒による学習の成果発表の場である埼玉県産業教育フェアを開催し、日頃の職業教育の取組を魅力的に発信し専門高校の活性化を図る。 ア 未来の職業人材育成事業 予算の節減による減額 △1,285千円 イ 埼玉県産業教育フェア 予算の節減等による減額 △1,081千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 未来の職業人材育成事業 13,776千円 → 12,491千円 明日の埼玉の産業界を担う高度専門職業人材を育成するため、地域の企業・商店街や研究機関等と連携した実践的な職業教育を行い、専門的な知識や技術、技能の習得とともに、商品開発や技術開発を行える専門人材の育成を図る。 イ 埼玉県産業教育フェア 1,960千円 → 879千円 専門高校等の生徒による学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上を図るとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高めることを目的に開催する。 (2) 事業計画 ア 未来の職業人材育成事業 年間を通じ、地域の企業等と連携した実践的な教育等を行う。 イ 産業教育フェア費 産業教育フェアを開催する。 (3) 事業効果 将来の地域産業を担う専門的職業人材の育成 【活動指標(アウトプット)】実践的な職業教育 44校、フェア開催 1回、教育カリキュラムの開発・研究 【成果指標(アウトカム)】専門分野や職業に魅力を感じる生徒 65%、専門資格等取得表彰者数 2,100人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業教育振興会、埼玉県経営者協会及び民間企業等と連携し、職業教育の充実を図る。 (5) 補正予算の概要 予算の節減等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.9人=18,050千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,366	1,100						△3,466	13,370
現計額	15,736	100						15,636	

事業内訳書

事業名	職業人材を育成する専門高校活性化事業		
単位事業名	未来の職業人材育成事業	予算額	△ 1,285千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
寄附金・ 教育総務費寄附金	1,100	—	地方創生応援税制寄附金
一般財源	△2,385	—	
合計	△1,285	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△32	—	節約等による旅費の減
需用費	△1,070	—	節約等による消耗品費の減
役務費	△183	—	節約等による手数料の減
合計	△1,285	—	

単位事業名	埼玉県産業教育フェア	予算額	△ 1,081千円
-------	------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,081	—	
合計	△1,081	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△48	—	節約による消耗品費の減
役務費	△34	—	節約による送料の減
使用料及び賃借料	△999	—	見込みが下回ったことによる会場使用料の減
合計	△1,081	—	